

評価規準

江戸川区立本一色小学校

教科：音楽 学年：第4学年

<p><コーナー名> (扱い時数・扱い月のめやす)</p>	<p>目標</p>	<p>学習活動に即した評価規準例</p>	
<p><導入> 「ありがとうの花」 (随時扱い)</p>	<p>(1) 曲想と旋律やリズム、反復など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに気付くとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、互いの歌声や伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付ける。</p>	<p>知識・技能</p>	<p>曲想と旋律やリズム、反復など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに気付いている。 思いや意図に合った表現をするために必要な、互いの歌声や伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付けている。</p>
	<p>(2) 旋律やリズム、反復などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。</p>	<p>思考・判断・表現</p>	<p>旋律やリズム、反復などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。</p>
	<p>(3) 曲の特徴を捉えたり、互いの歌声などを聴き合って表現したりする活動に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、友達と表現することの楽しさを感じる。</p>	<p>主体的に学習に取り組む態度</p>	<p>曲の特徴を捉えたり、互いの歌声などを聴き合って表現したりする活動に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、友達と表現することの楽しさを感じている。</p>

<コーナー名> (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	学習活動に即した評価規準例	
<スキルアップ> 「早口」 (毎時扱い)	(1) 曲想と旋律など音楽の構造との関わりに気付くとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸及び発音に気を付けて、自然で無理のない声で歌う技能を身に付ける。	知識・技能	曲想と、旋律など音楽の構造との関わりに気付いている。 思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸及び発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない声で歌う技能を身に付けている。
	(2) 旋律や音楽の縦と横との関係などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。		思考・判断・表現
	(3) 言葉の面白さを生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、輪唱に親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	言葉の面白さを生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。

<コーナー名> (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	学習活動に即した評価規準例	
<スキルアップ> 早口言葉でラップを楽しもう！ (毎時扱い)	(1) リズムのつなげ方や重ね方について、それらの生み出すよさや面白さなどと関わらせて気付くとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、音楽の仕組みを用いて音楽をつくる技能を身に付ける。	知識・技能	リズムのつなげ方や重ね方について、それらの生み出すよさや面白さなどと関わらせて気付いている。 思いや意図に合った表現をするために必要な、音楽の仕組みを用いて音楽をつくる技能を身に付けている。
	(2) リズムや音楽の縦と横との関係などを聴き取り、それらが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、音を音楽へと構成することを通して、どのようにまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもつ。		思考・判断・表現
	(3) 言葉のリズムの面白さを生かした表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む。	主体的に学習に取り組む態度	言葉のリズムの面白さを生かした表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。

<コーナー名> (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	学習活動に即した評価規準例	
<にっぽんのうた みんなのうた> 「さくら さくら」(共通教材) ◎さくら変そう曲 (2時間扱い・4月)	(1) 曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに気付くとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸及び発音に気を付けて、自然で無理のない歌い方で歌う技能を身に付ける。	知識・技能	曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに気付いている。 思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸及び発音に気を付けて、自然で無理のない歌い方で歌う技能を身に付けている。

	(2) 旋律、音階、音色、反復や変化などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもったり、箏の音楽のよさを見いだして聴いたりする。	思考・判断・表現	旋律、音階、音色、反復や変化などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて思いや意図をもったり、箏の音楽のよさを見いだして聴いている。
	(3) 日本のうたをもとにした音楽に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、箏の音楽に親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	日本のうたをもとにした音楽に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。

題材名 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	題材の評価規準例	
1 はくとせんりつ (6 時間扱い・4~5 月)	(1) 曲想と拍や速度など音楽の構造との関わりに気付くとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、互いの歌声や音、伴奏を聴いて声を合わせて歌ったり、楽器を演奏したりする技能を身に付ける。	知識・技能	曲想と拍や速度など音楽の構造との関わりに気付いている。 思いや意図に合った表現をするために必要な、互いの歌声や音、伴奏を聴いて声を合わせて歌ったり、楽器を演奏したりする技能を身に付けている。
	(2) 拍や旋律、強弱などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもったり、曲のよさを見いだして聴いたりする。	思考・判断・表現	拍や旋律、強弱などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもったり、曲のよさを見いだして聴いたりしている。
	(3) 拍子の特徴を捉えて表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、いろいろな拍子の音楽に親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	拍子の特徴を捉えて表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。

の扱いやす時数	ねらい	教材(◎鑑賞教材 ☆ 音楽づくり)	○主な学習内容	学習活動に即した評価規準例
3	声を合わせて歌ったり、楽器を演奏したりする技能を身に付けるとともに、拍や旋律などが生み出すよさを感じ取りながら、曲の特徴を	ラバーズ コンチェルト ◎メヌエット ◎トルコ行進曲 メリーさんの羊	○「ラバーズ コンチェルト」と「メヌエット」を、指揮の動きをしながら歌ったり聴いたりする。 ○「ラバーズ コンチェルト」と「メヌエット」を比べる。 ○「トルコ行進曲」を、指揮の動きをするなどして2拍子を感じな	【知-①】「ラバーズ コンチェルト」「メヌエット」の曲想と、拍など音楽の構造との関わりに気付いている。 【思-①】「トルコ行進曲」の拍や強弱などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取

	捉えた表現を工夫する。		がら聴く。 ○「メリーさんの羊」を、友達の指揮を見て歌ったり演奏したりする。	りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲のよさを見いだして聴いている。 【主-①】 拍子の特徴を捉えて表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。 【知-②】 「メリーさんの羊」の曲想と、拍やその流れ、速度など音楽の構造との関わりについて気付けている。
3	曲想と、拍など音楽の構造との関わりについて気付くとともに、拍子の特徴を捉えて表現することに興味をもち、音楽活動を楽しむ。	エーデルワイス	○「エーデルワイス」の主旋律を、拍子を感じ、旋律のまとまりを捉えて歌う。 ○「エーデルワイス」を歌と楽器で合わせて演奏する。	【思-②】 「エーデルワイス」の拍や旋律などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。 【技-①】 思いや意図に合った表現をするために必要な、互いの歌声や音、伴奏を聴いて声を合わせて歌ったり、楽器で演奏したりする技能を身に付けている。

題材名 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	題材の評価規準例	
2 ひびきのある歌声 (4 時間扱い・6～7月)	(1) 曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりについて気付くとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、互いの歌声や副次的旋律、伴奏を聴いて声を合わせて歌う技能を身に付ける。	知識・技能	曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりについて気付けている。 思いや意図に合った表現をするために必要な、互いの歌声や副次的旋律、伴奏を聴いて声を合わせて歌う技能を身に付けている。
	(2) 音色や旋律などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、歌声や旋律のよさや楽しさを見いだしてミュージカルの音楽を聴く。	思考・判断・表現	音色や旋律などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、歌声や旋律のよさや楽しさを見いだしてミュージカルの音楽を聴いている。
	(3) いろいろな歌声を聴くことに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、ミュージカルの音楽に親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	いろいろな歌声を聴くことに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。

の扱い時数	ねらい	教材(◎鑑賞教材 ☆ 音楽づくり)	○主な学習内容	学習活動に即した評価規準例
-------	-----	-------------------	---------	---------------

2	音色や旋律などが生み出すよさや面白さを感じ取りながらミュージカルの音楽を聴く。	◎ミュージカル「サウンド オブ ミュージック」から	○ミュージカル「サウンド オブ ミュージック」について知り、各曲を歌声や旋律に注意して聴く。	【思-①】 音色や旋律などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、歌声や旋律のよさや楽しさを見いだしてミュージカルの音楽を聴いている。 【主-①】 いろいろな歌声を聴くことに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。
2	曲想と旋律や歌詞の内容との関わりに気付くとともに、声を合わせて歌う技能を身に付ける。	プパポ	○「プパポ」の主旋律(上声部)を、フレーズのまとまりを捉えて、歌い方を工夫する。 ○パートの関わり合い方を意識して二部合唱する。	【知-①】 「プパポ」の曲想と、旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに気付いている。 【技-①】 思いや意図に合った表現をするために必要な、互いの歌声や副次的旋律、伴奏を聴いて声を合わせて歌う技能を身に付けている。

〈コーナー名〉 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	学習活動に即した評価規準例	
〈音のスケッチ〉 音の動き方を生かして せんりつをつくらう (2時間・7月)	(1) 音の動き方の特徴について、それらの生み出すよさや面白さなどと関わらせて気付くとともに、音楽の仕組みを用いて音楽をつくる技能を身に付ける。	知識・技能	【知-①】 音の動き方の特徴について、それらの生み出すよさや面白さなどと関わらせて気付いている。
			【技-①】 音楽の仕組みを用いて音楽をつくる技能を身に付けている。
	(2) 音の動き方やフレーズのつなげ方を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、どのようにまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもつ。	思考・判断・表現	【思-①】 音の動き方やフレーズのつなげ方を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、どのようにまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもっている。
(3) 音の動きの生み出すフレーズの特徴に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む、5音をもとにした音楽づくりに親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	【主-①】 音の動きの生み出すフレーズの特徴に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。	

〈コーナー名〉 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	学習活動に即した評価規準例	
〈にっぽんのうた みんなのうた〉 「まきばの朝」(共)	(1) 曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに気付くとともに、思いや意図に合った表現をする	知識・技能	曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに気付いている。

通教材) (1時間扱い・7月)	ために必要な、互いの歌声や伴奏を聴き、声を合わせて歌う技能を身に付ける。		思いや意図に合った表現をするために必要な、互いの歌声や伴奏を聴き、声を合わせて歌う技能を身に付けている。
	(2) 旋律などを聴き取り、その働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。	思考・判断・表現	旋律などを聴き取り、その働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。
	(3) 歌詞や曲想を生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、日本のうたに親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	歌詞や曲想を生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組みようとしている。

〈コーナー名〉 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	学習活動に即した評価規準例	
〈音のスケッチ〉 音の動き方を生かしてせんりつをつくろう (2時間・7月)	(1) 音の動き方の特徴について、それらの生み出すよさや面白さなど関わらせて気付くとともに、発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて、即興的に音を選択したり、組み合わせたりして表現する技能を身に付ける。	知識・技能	音の動き方の特徴について、それらの生み出すよさや面白さなど関わらせて気付いている。
			発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて、即興的に音を選択したり、組み合わせたりして表現する技能を身に付けている。
	(2) 旋律やフレーズを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、即興的に表現することを通して、音楽づくりの発想を得ている。	思考・判断・表現	旋律やフレーズを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、即興的に表現することを通して、音楽づくりの発想を得ている。
	(3) 音の動き方を生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、旋律やフレーズに親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	音の動き方を生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組みようとしている。

題材名 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	題材の評価規準例	
〈めざせ 楽器名人〉 「ハロー サミング」 「もののけ姫」から (毎時・9月～)	(1) リコーダーの音色と演奏の仕方との関わりに気付くとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、音色や響きに気を付けて、互いの音や副次的な旋律、伴奏を聴き、音を合わせて演奏する技能及びサミングの技能を身に付ける。	知識・技能	リコーダーの音色と演奏の仕方との関わりに気付いている。
			思いや意図に合った表現をするために必要な、音色や響きに気を付けて、互いの音や副次的な旋律、伴奏を聴き、音を合わせて演奏する技能及びサミングの技能を身に付けている。

	(2) 旋律や音楽の縦と横との関係を聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもつ。	思考・判断・表現	旋律や音楽の縦と横との関係を聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。
	(3) 高い音をきれいに響かせることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、リコーダーの二重奏、二部合奏に親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	高い音をきれいに響かせることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。

題材名 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	題材の評価規準例	
3 曲に合った歌い方 (4 時間扱い・9 月)	(1) 曲想と旋律など音楽の構造との関わり、曲想と歌詞の内容との関わりに気付くとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸や発音に気を付けて、自然で無理のない歌い方で歌う技能を身に付ける。	知識・技能	曲想と旋律など音楽の構造との関わり、曲想と歌詞の内容との関わりに気付いている。 思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸や発音に気を付けて、自然で無理のない歌い方で歌う技能を身に付けている。
	(2) 旋律などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。	思考・判断・表現	旋律などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。
	(3) 曲想を生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、日本のうたに親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	曲想を生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。

の扱い時数	ねらい	教材 (◎鑑賞教材 ☆音楽づくり)	○主な学習内容	学習活動に即した評価規準例
2	旋律などが生み出すよさを感じ取りながら、表現を工夫するとともに、声を合わせて歌う技能を身に付ける。	ゆかいに歩けば	○「ゆかいに歩けば」の主旋律の特徴に合う歌い方を考えて歌う。 ○「ゆかいに歩けば」を二部合唱する。	【思-①】「ゆかいに歩けば」の旋律などを聴き取り、その働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。 【技-①】 思いや意図に合った表現をするために必要な、互いの歌声や伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付けている。

2	曲想と旋律や歌詞との関わりに気付くとともに、曲想を生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しむ。	◆とんび(共通教材)	○「とんび」の旋律の流れや歌詞に合う歌い方を考える。 ○「とんび」の旋律を、ふさわしい歌い方で歌う。	【知-①】「とんび」の曲想と、旋律など音楽の構造との関わり、曲想と歌詞の内容との関わりに気付いている。 【主-①】「とんび」の曲想を生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。
---	---	------------	---	--

題材名 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	題材の評価規準例	
4 かけ合いと重なり (3 時間扱い・10月)	(1) 曲想と、呼びかけとこたえなど音楽の構造との関わりに気付く。	知識	曲想と、呼びかけとこたえなど音楽の構造との関わりに気付いている。
	(2) 音色、呼びかけとこたえ、音の重なり、旋律、反復、変化を聴き取り、それらの働きのよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲のよさを見だし、曲全体を味わって聴く。	思考・判断・表現	音色、呼びかけとこたえ、音の重なり、旋律、反復、変化を聴き取り、それらの働きのよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲のよさを見だし、曲全体を味わって聴いている。
	(3) 楽器の響きやかけ合いなどの面白さを捉えて聴く学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、オーケストラの響きに親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	楽器の響きやかけ合いなどの面白さを捉えて聴く学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。

の扱い時数	ねらい	教材 (◎鑑賞教材 ☆音楽づくり)	○主な学習内容	学習活動に即した評価規準例
3	曲想と音楽の構造との関わりに気付くとともに、音色、呼びかけとこたえ、音の重なり、旋律、反復、変化が生み出すよさや美しさを感じ取りながら、曲全体を味わって聴く。	◎アラ ホーンパイプ	○「アラ ホーンパイプ」の「〈主なせんりつ〉を中心とする部分」を聴き、特徴に気付く。 ○「アラ ホーンパイプ」を全曲通して聴き、形式に気付く。 ○「アラ ホーンパイプ」を全曲通して聴き、よさや面白さを味わう。	【主-①】 楽器の響きやかけ合いなどの面白さを捉えて聴く学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。 【知-①】 「アラ ホーンパイプ」の曲想と、呼びかけとこたえなど音楽の構造との関わりに気付いている。 【思-①】 音色、呼びかけとこたえ、音の重なり、旋律、反復、変化を聴き取り、それらの働きのよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲のよさを見だし、曲全体を味わって聴いている。

<コーナー名> (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	学習活動に即した評価規準例	
<にっぽんのうた みんなのうた> 「もみじ」(共通教材) (2 時間扱い・10～11 月)	(1) 曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに気付くとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、互いの歌声や副次的な旋律、伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付ける。	知識・技能	曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに気付いている。 思いや意図に合った表現をするために必要な、互いの歌声や副次的な旋律、伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付けている。
	(2) 旋律や音楽の縦と横との関係を聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。	思考・判断・表現	旋律や音楽の縦と横との関係を聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。
	(3) 歌詞や曲想、声部の役割を生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、日本のうたや二部合唱に親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	歌詞や曲想、声部の役割を生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。

題材名 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	題材の評価規準例	
5 日本と世界の音楽 (6 時間扱い・11～12 月)	(1) 曲想と旋律やリズムなど音楽の構造との関わりに気付くとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸や発音に気を付けて、自然で無理のない歌い方で歌う技能や、発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて、即興的に音を選択したり組み合わせたりして表現する技能を身に付ける。	知識・技能	曲想と旋律やリズムなど音楽の構造との関わりに気付いている。 思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸や発音に気を付けて、自然で無理のない歌い方で歌う技能や、発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて、即興的に音を選択したり組み合わせたりして表現する技能を身に付けている。
	(2) 旋律や音色、リズムなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかや演奏するかについて思いや意図をもったり、音楽のよさを見だし、味わって聴いたりする。	思考・判断・表現	旋律や音色、リズムなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかや演奏するかについて思いや意図をもったり、音楽のよさを見だし、味わって聴いたりしている。
	(3) 我が国や諸外国に伝わるいろいろな音楽の特徴や、人々の暮らしとの関わりに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、生活の中から生まれた多様な音楽に親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	我が国や諸外国に伝わるいろいろな音楽の特徴や、人々の暮らしとの関わりに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。

の扱 め やす 時 数	ねらい	教材（◎鑑賞教材 ☆ 音楽づくり）	○主な学習内容	学習活動に即した評価規準例
1	旋律や音色などが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、曲の特徴を捉えた表現を工夫する。	ソーラン節 ◎ソーラン節	○「ソーラン節」を、声や歌い方を工夫しながら音頭一同形式で歌う。	【思-①】「ソーラン節」の旋律や音色などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。
2 + α	曲想と旋律やリズムなどとの関わりに気付くとともに、即興的に音を選択したり組み合わせたりして表現する技能を身に付ける。	◎秩父屋台ばやし ◎葛西ばやし ☆おはやしづくりにチャレンジ (日本のお祭りをたずねて)	○「秩父屋台ばやし」などを聴き、お囃子のリズムや楽器の音色に親しんだり、自分たちでお囃子をつくったりする。 ○自分たちの地域にあるお祭りの音楽や、知っているお囃子などについて話し合ったり聴いたりする。	【知-①】 お囃子の曲想と旋律やリズムなど音楽の構造との関わりに気付いている。 【技-①】 発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて、即興的に音を選択したり組み合わせたりして表現する技能を身に付けている。 【主-①】 我が国に伝わるいろいろな音楽の特徴や、人々の暮らしとの関わりに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。
3	諸外国に伝わるいろいろな音楽の特徴や、人々の暮らしとの関わりに興味をもち、音楽活動を楽しむ。	◎サムルノリ ◎サンバの音楽 朝の歌 おどれサンバ	○「朝の歌」を、遠くに呼びかけるような声で歌う。 ○「サムルノリ」や「サンバの音楽」を聴き、リズムや楽器の音色の特徴を感じ取る。 ○「おどれサンバ」を楽器のリズムで伴奏して歌い合わせる。	【主-①】 我が国に伝わるいろいろな音楽の特徴や、人々の暮らしとの関わりに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。 【技-②】 思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸や発音に気を付けて、自然で無理のない歌い方で歌う技能を身に付けている。 【主-②】 諸外国に伝わるいろいろな音楽の特徴や、人々の暮らしとの関わりに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。 【思-②】 「おどれサンバ」のリズムなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかや演奏するかについて思いや意図をもっている。

<コーナー名> (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	学習活動に即した評価規準例	
<音のスケッチ> 音階をもとにして音楽をつくろう (2 時間扱い・12月)	(1) 様々な音階の響きの特徴について、それらの生み出すよさや面白さなどと関わらせて気付くとともに、発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて、即興的に音を選択したり組み合わせたりして表現する技能を身に付ける。	知識・技能	様々な音階の響きの特徴について、それらの生み出すよさや面白さなどと関わらせて気付いている。
			発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて、即興的に音を選択したり組み合わせたりして表現する技能を身に付けている。
	(2) 旋律や音階などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや、音階による旋律の雰囲気の違いを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、即興的に表現することを通して、音楽づくりの発想を得る。	思考・判断・表現	旋律や音階などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや、音階による旋律の雰囲気の違いを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、即興的に表現することを通して、音楽づくりの発想を得る。
(3) 音階をもとにして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、日本の旋律に親しむ。	主体的に学習に取り組む態度		音階をもとにして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。

題材名 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	題材の評価規準例	
6 パートの役わり (3 時間扱い・1月)	(1) 曲想と声部の役割など音楽の構造との関わりに気付くとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、音色に気を付け、互いの音を聴いて、音を合わせて演奏する技能を身に付ける。	知識・技能	曲想と声部の役割など音楽の構造との関わりに気付いている。
			思いや意図に合った表現をするために必要な、音色に気を付け、互いの音を聴いて、音を合わせて演奏する技能を身に付けている。
	(2) フレーズや音楽の縦と横との関係などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもつ。	思考・判断・表現	フレーズや音楽の縦と横との関係などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。
(3) 曲想や声部の役割を生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、タンゴの音楽や合奏に親しむ。	主体的に学習に取り組む態度		曲想や声部の役割を生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。

の扱 めい や時 す数	ねらい	教材 (◎鑑賞教材 ☆ 音楽づくり)	○主な学習内容	学習活動に即した評価規 準例
3	音色に気を付け、音を 合わせて演奏する技能 を身に付けるとともに、 フレーズや音楽の縦と 横との関係などを聴き 取り、曲の特徴を捉え た表現を工夫する。	ラ クンパルシータ	○主旋律が続くよう に、鍵盤ハーモニカ の1・2パートを合わ せて演奏する。 ○担当するパートを 決めて練習する。 ○全員やグループで 合奏する。	【技-①】 思いや意図に合っ た表現をするために必要な、 音色に気を付け、互いの音を 聴いて、音を合わせて演奏す る技能を身に付けている。 【知-①】 「ラ クンパルシー タ」の曲想と、声部の役割など 音楽の構造との関わりに気付 いている。 【主-①】 「ラ クンパルシー タ」の曲想や声部の役割を生 かして表現することに興味を もち、音楽活動を楽しみなが ら、主体的・協働的に学習活 動に取り組もうとしている。 【思-①】 「ラ クンパルシー タ」のフレーズや音楽の縦と 横との関係などを聴き取り、そ れらの働きが生み出すよさや 面白さを感じ取りながら、聴き 取ったことと感じ取ったことと の関わりについて考え、曲の 特徴を捉えた表現を工夫し、 どのように演奏するかについ て思いや意図をもっている。

題材名 (扱い時数・扱い月 のめやす)	目標	題材の評価規準例	
7 音楽のききどころ (3 時間扱い・2 月)	(1) 曲想と旋律や音色など音楽の構造 との関わりに気付く。	知識	曲想と旋律や音色など音楽の構造との 関わりに気付いている。
	(2) 音色、旋律、反復、変化、強弱、速 度などを聴き取り、それらの働きが生み 出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き 取ったことと感じ取ったこととの関わり について考え、曲のよさを見だし、曲全 体を味わって聴く。	思考・ 判断・ 表現	音色、旋律、反復、変化、強弱、速度 などを聴き取り、それらの働きが生み出 すよさや美しさを感じ取りながら、聴き 取ったことと感じ取ったこととの関わり について考え、曲のよさを見だし、曲全 体を味わって聴いている。
	(3) 曲想とその変化を捉えて聴く学習に 興味をもち、音楽活動を楽しみながら、 主体的・協働的に学習活動に取り組 み、オーケストラの響きに親しむ。	主体 的に 学習 に取 り組 む態 度	曲想とその変化を捉えて聴く学習に興 味をもち、音楽活動を楽しみながら、主 体的・協働的に学習活動に取り組もうと している。

の扱 めい やす 時数	ねらい	教材（◎鑑賞教材 ☆音楽づくり）	○主な学習内容	学習活動に即した評価規 準例
3	曲想と旋律や音色 などの関わりに気 付くとともに、音 色、旋律、反復、変 化、強弱、速度など が生み出すよさ や美しさを感じ取り ながら、曲全体を 味わって聴く。	◎ノルウェー舞曲 第2番	○「ノルウェー舞曲 第2番」 を、曲全体の曲想や構成を捉 えて聴く。 ○「始め」「中」「終わり」の特 徴の変化に気を付けて聴く。 ○曲全体の特徴や演奏のよさ を味わって聴く。	【主-①】「ノルウェー舞曲 第 2番」の曲想とその変化を捉え て聴く学習に興味をもち、音 楽活動を楽しみながら、主体 的・協働的に学習活動に取り 組もうとしている。 【知-①】「ノルウェー舞曲 第 2番」の曲想と、旋律や音色な ど音楽の構造との関わりに気 付いている。 【思-①】「ノルウェー舞曲 第 2番」の音色、旋律、反復、変 化、強弱、速度などを聴き取 り、それらの働きが生み出すよ さや美しさを感じ取りながら、 聴き取ったことと感じ取ったこ ととの関わりについて考え、曲 のよさを見いだし、曲全体を味 わって聴いている。

題材名 (扱い時数・扱い月の めやす)	目標	題材の評価規準例	
8 思いに合った表 げん 選択 A 器楽 (2 時間扱い・2～3 月)	(1) 曲想と旋律など音楽の構造との関わりに 気付くとともに、思いや意図に合った表現を するために必要な、互いの音や伴奏を聴き、 音を合わせて演奏する技能を身に付ける。	知識・技 能	曲想と旋律など音楽の構造との関わりに 気付いている。 思いや意図に合った表現をするために必 要な、互いの音や伴奏を聴き、音を合わ せて演奏する技能を身に付けている。
	(2) 音色や旋律、音の重なりなどを聴き取り、 それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ 取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこと との関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表 現を工夫し、どのように演奏するかについて 思いや意図をもつ。	思考・判 断・表現	音色や旋律、音の重なりなどを聴き取り、 それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ 取りながら、聴き取ったことと感じ取った こととの関わりについて考え、曲の特徴を 捉えた表現を工夫し、どのように演奏する かについて思いや意図をもっている。

	(3) 音を合わせて演奏することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、1年間の学習を生かして、主体的・協働的に学習活動に取り組み、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにしようとする態度を養う。	主体的に学習に取り組む態度	音を合わせて演奏することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、1年間の学習を生かして、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。
--	--	---------------	---

の扱いやす めやす 回数	ねらい	教材 (◎鑑賞教材 ☆ 音楽づくり)	○主な学習内容	学習活動に即した評価規準例
2	音色や旋律、音の重なりなどが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、曲の特徴を捉えた表現を工夫するとともに、1年間の学習を生かして音楽活動を楽しむ。	遠き山に日は落ちて	○「遠き山に日は落ちて」の両方の声部をリコーダーで演奏し、役割やふさわしい響きについて考える。 ○「遠き山に日は落ちて」を聴き合いながら二部合奏する。 ○学校の中で流れている音楽について意見を交流する。	【知-①】「遠き山に日は落ちて」の曲想と、旋律など音楽の構造との関わりに気付いている。 【主-①】音を合わせて演奏することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、1年間の学習を生かして、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。 【技-①】思いや意図に合った表現をするために必要な、互いの音や伴奏を聴き、音を合わせて演奏する技能を身に付けている。 【思-①】音色や旋律、音の重なりなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、「遠き山に日は落ちて」の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。

題材名 (扱い回数・扱い月の めやす)	目標	題材の評価規準例	
8 思いに合った表 げん 選択 B 歌唱 (2 時間扱い・2～3 月)	(1) 曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに気付くとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、互いの歌声や伴奏を聴き、声を合わせて歌う技能を身に付ける。	知識・技能	曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに気付いている。
			思いや意図に合った表現をするために必要な、互いの歌声や伴奏を聴き、声を合わせて歌う技能を身に付けている。
	(2) 音色や旋律、音の重なりなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。	思考・判断・表現	音色や旋律、音の重なりなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。
	(3) 声を合わせて歌うことに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、1年間の学習を生かして、主体的・協働的に学習活動に取り組み、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにしようとする態度を養う。	主体的に学習に取り組む態度	声を合わせて歌うことに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、1年間の学習を生かして、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。

の扱 め時 やす 数	ねらい	教材 (◎鑑賞教材 ☆ 音楽づくり)	○主な学習内容	学習活動に即した評価規準 例
2	音色や旋律、音の重なりなどが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、曲の特徴を捉えた表現を工夫するとともに、1年間の学習を生かして音楽活動を楽しむ。	グッデー グッバイ	○「グッデー グッバイ」の両方の声部を歌い、役割やふさわしい歌い方について考える。 ○「グッデー グッバイ」を聴き合いながら二部合唱する。 ○学校の中で流れている音楽について意見を交流する。	【知-①】「グッデー グッバイ」の曲想と、旋律など音楽の構造との関わり、曲想と歌詞の内容との関わりに気付いている。 【主-①】声を合わせて歌うことに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、1年間の学習を生かして、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。 【技-①】思いや意図に合った表現をするために必要な、互いの歌声や伴奏を聴き、声を合わせて歌う技能を身に付けている。 【思-①】音色や旋律、音の重なりなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、「グッデー グッバイ」の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。

コーナー名 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	学習活動に即した評価規準例	
〈音のスケッチ〉 役わりをもとに音楽をつくろう (3時間扱い・3月)	(1) フレーズなどのつなげ方や重ね方の特徴について、それらの生み出すよさや面白さに関わらせて気付くとともに、音楽の仕組みを用いて音楽をつくる技能を身に付ける。	知識・ 技能	フレーズなどのつなげ方や重ね方の特徴について、それらの生み出すよさや面白さに関わらせて気付いている。 発想を生かした表現をするために必要な、設定された条件に基づいて、即興的に音を選択したり組み合わせたりして表現する技能を身に付けている。
	(2) フレーズ、呼びかけとこたえ、音楽の縦と横との関係などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、どのようにまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもったりして表現を工夫する。	思考・ 判断・ 表現	フレーズ、呼びかけとこたえ、音楽の縦と横との関係などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、どのようにまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもったりして表現を工夫している。
	(3) 役割を生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、音楽の縦と横との関係に親しむ。	主体的 に学習 に取り 組む態 度	役割を生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。

コーナー名 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	学習活動に即した評価規準例	
いろいろな歌声を 楽 しよう 歌げき「魔笛」から (2時間扱い・随時)	(1) 曲想と、歌声や旋律など音楽の構造との関わりに気付く。	知識	【知-①】 歌劇「魔笛」の曲想と、歌声や旋律など音楽の構造との関わりに気付いている。
	(2) 歌声や旋律、伴奏を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさ、面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、演奏のよさを見いだして聴く。	思考・判断・表現	【思-①】 歌劇「魔笛」の歌声や旋律、伴奏を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさ、面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、演奏のよさを見いだして聴いている。
	(3) いろいろな歌声やその表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、歌劇の音楽に親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	【主-①】 いろいろな歌声やその表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。